

第160号

2023.2
(令和5年)

ひこね 市議会だより

令和4年11月定例会

(11月28日～12月19日)

- 特集 子ども議会 …………… 2～5
- 11月定例会で決まったこと …… 6～10
- 個人質問 …………… 10～20
- 常任委員会視察 …………… 20～23
- お知らせ …………… 24



子ども議会を開催しました
令和4年11月12日(土)

第13回

子ども議会

8月3日
事前研修会

彦根市の未来を担う子どもたちに、議員として質問や提案をすることを目的に子ども議会を開催しました。

第13回を迎えた今回は、市内17小学校の6年生23人が子ども

事前研修会では、子ども議員選出書の交付を受け、子ども議員として第一歩を踏み出しました。その後、市議会や市役所の仕事についての説明を受け、議会で質問する内容の作成に励みました。質問づくりの際には、市役所の担当課に直接出向き、職員から話を聞くなど、議員として積極的に取り組む頼もしい姿がみられました。



教育委員会の
指導主事の先
生方が丁寧に
指導！



市職員から
説明を受ける

を開催しました

ことを通じて、市議会や市の取組を身近に感じ、興味を持ってもらう

議員として参加しました。

11月5日
リハーサル

議長から議事進行
の説明を受ける
子ども議長

リハーサル前に、議長3人の決定と、全議員の議席を決めました。
その後、決定した議長の議事進行に沿って、議場で質問の練習を行いました。

議場開放促進委員から、議場への入退場時は必ず一礼
をすることをはじめ、議長の議事進行に従い質問をする
手順を学びました。

初めての議場に緊張と戸惑いを見せていた子ども議員
も、本番に向けて練習を重ねるにつれ、しっかりとした議員
の顔つきに変わってきました。

本番さながらの緊張感

第1グループ

1番 稲枝東小学校 ふる かわ 古川 ほなみさん
「彦根市に観光スポットを増やして、み力的にしたい」



6番 佐和山小学校 おお に し き み 大西 希実さん
「彦根市立図書館の利用者を増やすために」



9番 亀山小学校 よし かわ ゆ な 吉川 結菜さん
「季節に合わせた歩道整備について」



12番 城南小学校 ひろ せ あおい 廣瀬 葵さん
「遊具を増やすことに関することの提案」



15番 亀山小学校 なる みや に らい 成宮 虹来さん
「みんなが行きやすい自習室を亀山学区に」



18番 若葉小学校 もり おか かん な 盛岡 環奈さん
「彦根市全体に花が咲く木を植えて明るい市にする」



19番 城南小学校 おお もり ゆ め 大森 結芽さん
「子ども選挙についての提案」



22番 稲枝北小学校 くろ き ゆ い 黒木 優衣さん
「みんなが幸せになれるように」



子ども議員の“感想”

- ☑市に自分の意見や考えを伝えることができ
るよい経験をすることができました。
- ☑これまで市政に興味はありませんでしたが、
子ども議会を通して、市政に興味が出てきま
した。
- ☑大変なこともありましたが、他では経験する
ことのできない貴重な経験をすることがで
きたので、参加してよかったです。

11月12

当日は、3つのグループにわかれ
なかには、質問をよりわかりやすく
り、副市長や部長からの答弁に対し
の緊張感のある子ども議会となり



傍聴者の“声”

自分の思いだけでなく、他の人の疑問や考えを聞く
ことにより、子ども自身の考え方の幅が広がるとも
有意義な時間になったと思います。

子ども議員の質問に対して、副市長等からわかりやす
い丁寧な答弁があり、とても良い経験になりました。

第3グループ

3番 城北小学校 きり はた り と 桐畑 凌斗さん
「公園をみんなが安心して、楽しめる所にして
ほしい」



4番 旭森小学校 いめい あや か 乾 礼佳さん
「自転車専用道路の整備について」



7番 高宮小学校 の ざき てる か 野崎 輝香さん
「通院医りょう費の助成」



日 本 番 !



て質問しました。

説明するためにパネル等を作成した再質問をするなど、本会議さながらしました。



10番 城西小学校 藤田 淳暉さん
「学習者用端末の導入による学習機の最善化利用について」



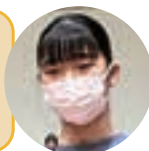
13番 城北小学校 中西 温大さん
「給食費の無償化をできるだけ早く実現してほしい」



16番 城西小学校 寺田 蒼さん
「彦根をもっといい観光地にするために」



21番 河瀬小学校 小林 怜未さん
「細い道等にも外灯やカーブミラーを増やしてほしい」



第2グループ



2番 城東小学校 宮川 孝太さん
「またいきたい！と思える図書館づくり」



5番 城陽小学校 江畑 博翔さん
「彦根の自然体験について」



8番 稲枝西小学校 上田 英祥さん
「教科書の電子化について」



11番 鳥居本小学校 右川 航大さん
「彦根オープンセットを体験型施設として活用することについて」



14番 城陽小学校 巴 佐以子さん
「安全、安心な通学路にするために」



17番 金城小学校 本庄 宏敏さん
「大雪に負けない取り組みを」



20番 平田小学校 藤原 雄蔵さん
「公園の遊具を充実させてほしい」



23番 金城小学校 角田 果巴さん
「小学生と大学生がふれ合う機会を設ける」

子ども議員の“感想”

- ☑とても緊張しましたが、聞き取りやすくなるよう、大きな声でゆっくりと発表することができました。
- ☑子ども議会での経験を生かして、今後もいろいろなことにチャレンジしていきたいです。
- ☑最初は不安ばかりでしたが、子ども議会を通して、自分の提案に自信をもつことができるようになりました。

11月定例会の結果

11月定例会の結果

12月19日(月)に閉会した11月定例会の結果についてお知らせします。
 予算関係8件、条例関係10件、その他議案5件を原案のとおり可決しました。
 また、請願1件を採択しました。

11月定例会 議案等の審議結果

会期：11月28日(月)～12月19日(月)

■全員賛成で可決した議案等

項目	番号	件 名
議 案	90	令和4年度(2022年度)彦根市一般会計補正予算(第10号)
	91	令和4年度(2022年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	92	令和4年度(2022年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第3号)
	93	令和4年度(2022年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	94	令和4年度(2022年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
	95	令和4年度(2022年度)彦根市病院事業会計補正予算(第4号)
	96	令和4年度(2022年度)彦根市水道事業会計補正予算(第2号)
	97	令和4年度(2022年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第1号)
	98	彦根市稲枝駅西側地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例案
	99	彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案
	100	彦根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
	101	彦根市職員定数条例の一部を改正する条例案
議 案	102	彦根市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例案
	103	彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案
	104	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案
	105	彦根城博物館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
	106	彦根市子どもに係る医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案
	107	彦根市公園条例の一部を改正する条例案
	108	彦根市荒神山自然の家指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	109	彦根市ふたばデイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	110	彦根市中老人福祉センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	111	いろは松駐車場、二の丸駐車場、桜場駐車場、大手前駐車場、本町駐車場、松原水泳場駐車場および京橋口駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	112	損害賠償の額の決定につき議決を求めることについて
請 願	2	抜本的なごみ減量計画の策定を求める請願

■議会に提出された報告

項目	番号	件 名
報 告	28	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	29	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	30	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	31	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	32	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	33	損害賠償の額の決定について
	34	損害賠償の額の決定について
	35	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて
	36	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて
	37	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて

一般会計補正予算の主な事業

ふるさと彦根応援寄附事業

1億6,811万3千円

「ふるさと彦根応援寄附金」の寄附状況を踏まえ、返礼品発送業務等に必要となる経費です。



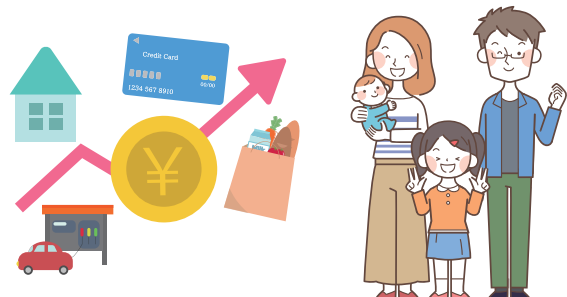
(積算内容)	所要額	既決予算額	補正額
・ 広告料	500万円 -	400万円 =	100万円
・ 手数料	7,476万8千円 -	6,054万8千円 =	1,422万円
・ ふるさと納税関連業務委託料	4億9,156万6千円 -	3億3,867万3千円 =	1億5,289万3千円
		計	1億6,811万3千円

物価高騰に負けるな！ひこねっこ応援臨時給付金給付事業

1億9,701万9千円

エネルギー、食料品等の物価高騰による家計への負担が増大する中で、子育て世帯(本市に住所を有する18歳未満(令和4年4月1日現在)の子どもが属する世帯)に対して、経済面および精神面で応援することを目的として、「ひこねっこ応援臨時給付金」を給付するため、必要となる経費です。

※全額国庫支出金(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)をもって賄います。



(積算内容)	所要額	既決予算額	補正額
・ 会計年度任用職員給料	45万2千円 -	0円 =	45万2千円
・ 会計年度任用職員職員手当等	5万4千円 -	0円 =	5万4千円
・ 社会保険料	6万1千円 -	0円 =	6万1千円
・ 会計年度任用職員共済組合費	3万2千円 -	0円 =	3万2千円
・ 消耗品費	21万2千円 -	0円 =	21万2千円
・ 印刷製本費	3万4千円 -	0円 =	3万4千円
・ 通信運搬費	215万7千円 -	0円 =	215万7千円
・ 手数料	134万1千円 -	0円 =	134万1千円
・ システム変更委託料	267万6千円 -	0円 =	267万6千円
・ ひこねっこ応援臨時給付金	1億9千万円 -	0円 =	1億9千万円
		計	1億9,701万9千円



ごみ焼却場一般管理事業

7,555万6千円

ごみ焼却場の設備に新たな損傷が確認されたため、追加の修繕工事等に必要な経費です。

また、原油価格等の物価高騰による光熱水費の増額に必要な経費です。



(積算内容)	所要額	既決予算額	補正額
・光熱水費	1億559万9千円 -	7,816万4千円 =	2,743万5千円
・修繕料	3億1,534万8千円 -	2億7,217万7千円 =	4,317万1千円
・清掃委託料	495万円 -	0円 =	495万円
		計	7,555万6千円

ごみ焼却場整備事業

7,023万9千円

突発的な焼却場の修繕等により、ごみを外部搬出するため必要となる経費です。

(積算内容)	所要額	既決予算額	補正額
・手数料	687万円 -	450万円 =	237万円
・可燃物処分委託料	3億7,516万1千円 -	3億729万2千円 =	6,786万9千円
		計	7,023万9千円

予算常任委員会

補正予算案8件を審査

予算常任委員会は、12月9日(金)に委員会を開催し、8件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第90号、議案第91号、議案第92号、議案第93号、議案第94号、議案第95号、議案第96号、議案第97号

【主な質疑】

○ふるさと彦根応援寄附事業について

Q ふるさと彦根 市長認定事業寄附金の3億円増額の根拠は。

A 昨年度に比べ寄附額が毎月増額しており、9月末時点で180%増加している。冬季は駆け込み増加の見通しからの増額補正である。

Q 増額分の用途は。

A 施設型給付費(幼児課)、小中学校のコンピュータ整備(学校ICT推進課)、福祉医療費助成(保

険年金課)、清掃センター一般管理費などに充当する。

○ごみ焼却場一般経費について

Q 彦根市清掃センターの稼働状況は。

A 2号炉は停止している。1・3号は煙突工事で不具合が見つかり、処理能力が3号炉は若干、1号炉は3割以上低下している。安定して連続運転ができない状況。

Q 処理能力を超えるごみの扱いは。

A 2月に全面停止して整備をする予定で、生じたごみは焼却ピットに貯留し、ごみの搬入量に合わせて外部搬出を計画している。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

彦根城博物館の設置および管理に関する条例の一部を改正する 条例案等4件を可決、市長への提言を決議

福祉病院教育常任委員会は、12月12日(月)に委員会を開催し、4件の議案について慎重に審査等を行いました。

【審査】

- ・議案第105号、議案第108号、議案第109号、議案第110号

【主な質疑】

○議案第105号に対して

Q これまでも電磁的記録は作成しているのか。

A 一定の蓄積はある。

Q 電磁的記録を公開した場合、無断使用の防止は。

A 技術的に防止し、申請許可制度で提供していく。

○議案第108号に対して

Q 選定基準の積極的な取組とは。

A これまでの実績を活かし自主事業の拡充等である。

Q ユニバーサルデザインを取り入れた利用者の満足度の向上とは。

A 受託者負担で施設内の標示を見やすくしたり、接客を工夫する等の提案がされている。

○議案第109号に対して

Q これまで利用者の評判等は。

A いろいろなアクティビティが用意され利用者が選択できる等、一人ひとりに丁寧に対応されている。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

【決議】

「図書館のあり方および業務内容について」を所管事務調査事項とし、先進地行政視察や閉会中の継続調査のための委員会を開催する等調査研究を行い、この調査結果に基づき、市長へ政策提言するよう決議

※詳細は24ページをご覧ください。

市民産業建設常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、12月13日(火)に委員会を開催し、1件の請願、5件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・請願第2号
- ・議案第 98号、議案第106号、議案第107号、議案第111号、議案第112号

【主な質疑】

○議案第106号に対して

Q 施行時期が来年4月1日となっているが、条例改正に伴い手立はしっかりできているか。

A 来年1月に新5年生、6年生に対して申請書を送付する。この申請書を受け付けた後、3月中頃には新1年生から6年生を対象に福祉医療費受給券を発送する。補正予算計上も含めて準備はできている。

Q 市民の方や対象者への周知啓発は。

A 彦根医師会や歯科医師会、薬剤師会、その他大きな病院等にも通院医療費助成の対象年齢を拡大する旨は伝えている。1月の広報ひこねに掲載するほか、同月に申請書を送付し、3月には福祉医療費受給券を発送する。これによって小学校6年生までの受給券を使えるという周知につながると思う。

○議案第107号に対して

Q 市民の中でもクラブだとかスポ少などいろいろな形で利用される方が多いと思う。子どもに対してこの条例の中に合うものはあるのか。

A 条例の中で子どもに対する規定はないが、減免の規定として公益性がある場合は減免をするという条項がある。例えば幼稚園の運動会等については減免の対象となると考えている。

○議案第111号に対して

Q 松原駐車場は夏場だけの期間限定か。

A 季節限定の開設となっている。

Q 国スポ・障スポ等特別なことがあれば開設は可能か。

A 協定の中で柔軟な運営は可能と思うが、現実的には人件費がかなり発生してくると難しい。市内の駐車場があふれて、渋滞がひどくなる状況になれば、他の民間施設駐車場の利用も含めて総合的に検討する。

【結果】

- ・請願第2号は採択
- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、12月14日(水)に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第 99号、議案第100号、議案第101号、議案第102号、議案第103号、議案第104号

【主な質疑】

○議案第101号に対して

- Q 国スポ、障スポの準備開催にかかる職員を27名増員されるが、どこを強化されるのか。また、正規職員、任期付職員の採用割合は。
- A 令和5年度に13名、令和6年度に14名、合計27名を増員し、国スポ・障スポの体制強化をする。また、各種団体との連絡調整などの業務が数多く出てくる一方で、内部的な処理もあるため2課体制にする。

採用割合は確実な数字は出せないが、任期付職員と正規職員の両方の採用で進める。

- Q 2か年で27名を増員されるが、国スポ・障スポ後の配置はどうされるのか。
- A 任用期間を限定した職員の採用を考えているが、正規職員も一定数必要。国スポ・障スポ後は、退職者の補充人数を減らすことにより職員数を徐々に減らしていき、令和14年度頃には今の規模に戻していきたい。その間の増員分は各部署の業務量を見ながら配置する。

【結果】

- ・議案は原案のとおり可決

市政について
質す!

11月定例会個人質問

19人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ配信・録画配信の視聴について



本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。

配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q 生ごみの堆肥化の現状は

A 市民団体と協働して取り組んでいる

Q 生ごみの堆肥化に取り組む団体への支援は十分か。

A 6つの団体に普及啓発を委託し、彦根市ごみ削減推進協議会を立ち上げ、ボカシ作りや初心者向け体験講習会の実施など、協働して普及啓発している。また、活動場所や、作製したボカシの販売場所も提供している。

Q 堆肥化しても使うところがないという課題に対しての市の対策は。

A 課題は認識しており、彦根市ごみ削減推進協議会と検討しているが、具体的な対策の実施には至っていない。

Q 堆肥が利用できる市民農園をつくるべきでは。

A 東びわこ農業協同組合が開設する市民農園にまだ空きがあることから、市が主体で開設する予定はない。しかし、堆肥活用はごみ減量対策として有効な方法なので、関係団体等と協議、検討していきたい。



その他の質問

- ・ごみの資源化の取組について
- ・紙おむつの資源化について



▲ボカシの販売



森野 克彦議員
企画総務消防常任委員会

Q 旭森公園の今後の整備の可能性は

A 整備の優先度が高くなれば整備の実施も十分にあると考えている

Q 旭森公園が都市計画決定されたのはいつか。

A 昭和42年9月23日。

Q 旭森公園の整備率は。

A 公園の計画決定面積は1.3haで、その内の0.1haを昭和43年4月1日に供用開始しており、整備率は約7.7%である。

Q 都市計画決定されている市の公園全体の整備率は。

A 66.7%である。

Q 他の公園と比べて整備率が低いのはなぜか。

A 山と一体の公園として計画しており、未整備地の山は自然の状態で緑地としての機能があるから、今は整備の計画はない。

Q 旭森公園の今後の整備の可能性は。

A 未整備地の山についても、健康活動のために登山道を整備することもある。その必要性が地元・市と共有されて整備の優先度が高くなれば整備の実施も十分にあると考えている。



その他の質問

- ・清掃センターの休日のごみ等の持ち込みについて
- ・市街化調整区域の荒れ地の問題解決に向けた今後の対策の方向性は



▲昭和42年の都市計画決定以降整備率が7.7%から進んでいない旭森公園



伊藤 容子議員
市民産業建設常任委員会

Q トンネルコンポストは固形燃料の
受入れ先の確約がセットでは

A 一般論として受入れ先が見つから
ないと決定は当然できない



その他の質問

- ・ 中期財政計画について
- ・ 彦根北びわ湖大花火大会について
- ・ ひとり親家庭の養育費受け取りへの支援について

Q ごみ処理方法のトンネルコンポスト方式とは。

A 生ごみやプラスチック、紙などが混在する可燃ごみを破碎混合し、微生物が生ごみを発酵分解する好気性発酵乾燥方式の一種である。

Q 以前の議会答弁で市が示した本方式のデメリットは何か。

A 1市4町の広域ごみ処理施設で想定されるごみ受入れ量を継続して処理できるか、また本方式で生産される固形燃料の利用先の安定的な確保が不明確なこと、がデメリットである。彦根愛知犬上広域行政組合が今後調査検討する。

Q トンネルコンポスト方式の導入は、固形燃料の安定した受入れ先の確約がセットで決定されるべきと考えるが、市の見解は。

A 一般論として受入れ先が見つからないと決定は当然できないということは間違いない。



▲トンネルコンポスト方式の図



中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q 発熱時の受診体制強化と検査
キットは市が配布すべき

A 関係機関と年末年始の調整を
図っている。キットは配布しない



その他の質問

- ・ 中学校卒業までの医療費助成と給食費無償化の早期実現について
- ・ 金亀公園の多目的競技場を市民のために運営すべきでは

Q 新型コロナウイルス感染症の第7波で市民の声から見えた課題は。

A 急激な患者の増加で医療がひっ迫し受診できない、どこで検査が受けられるのかわからない等、情報が十分に届いていなかった。

Q 第8波に向けた国・県からの市の対応についての指示は。

A 市民に対してコロナワクチン接種を勧め、インフルエンザの同時流行による医療ひっ迫を抑えるため、市販の抗原定性検査キット、解熱鎮痛剤、食料の備蓄を呼びかける内容。

Q 受診抑制が言われているが、発熱時の受診体制強化と検査キットは市が配布すべきでは。

A 彦根休日急病診療所では、発熱外来に特化し、年末年始の体制強化の調整を図る。診療体制を維持し強化するためには、キットを確保する必要がある、配布することは考えていない。



▲受診体制強化が求められる第7波時の彦根市立病院の発熱外来



長崎 任男議員
企画総務消防常任委員会

Q 実質公債費比率の推移の予測は

A 大型事業の償還も始まり増加傾向である



その他の質問

- ・中期財政計画とは
- ・実質公債費比率とは
- ・今後のごみ処理施設の考え方は
- ・候補地である西清崎への影響は

Q 中期財政計画における実質公債費比率の推移の予測は。

A 大型事業である本庁舎耐震化整備や彦根市スポーツ・文化交流センター整備に係る市債借入れの元金償還が始まるほか、老朽化著しい現有のごみ焼却場整備の元金償還等も見込まれるため、少なくとも令和10年度までは増加傾向が見込まれる。
それ以上は予測できないが、少なくともこれら大型事業の償還が完了するまでは同水準で推移すると考える。

Q 財政健全化を図りながらも市民にとって必要な事業は遅滞なく行う必要があると思う。財政の健全化と必要な事業を進めていくことについて市長の見解は。

A 本市の財政状況は大変厳しい状況。歳入（自主財源）を確保し、何とか歳出削減に努め、中期財政計画に示すレベルを堅持する。

※実質公債費比率…地方債の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの。この比率が高まると、返済の資金繰りが厳しいことを表す。



▲耐震化整備を終えた彦根市役所



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q 不法投棄ごみの年間回収量は

A 令和3年度の市内での回収量は29.5トンであった



その他の質問

- ・若者の貧困について
- ・ケアリーバーについて
- ・茶の湯条例について

Q 市内の不法投棄ごみの年間回収量はどうなっているか。

A 本市の不法投棄ごみの年間回収量は、令和元年度が23.3トン、令和2年度が25トン、令和3年度が29.5トンであり、10年前の半量で推移している。

Q 不法投棄ごみはどのような物があるか。

A 不法投棄ごみの内容は、空き缶、ペットボトル、たばこの吸い殻などの軽微なごみから、自転車・家具などの大型ごみ、またテレビや冷蔵庫などのリサイクル家電、廃タイヤやバッテリーなどの処理が困難な物まで多岐にわたる。

Q 不法投棄ごみの処理費用はいくらか。

A タイヤやバッテリーなど、清掃センターで処理困難な物について専門の処理業者に委託しており、令和元年度から令和3年度の3年間で約52万円を要した。

※ケアリーバーとは、児童養護施設や里親など社会的養護（ケア）から離れた人のことです。



▲市内の不法投棄ごみの一例



野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会



死亡事故発生道路や交差点内・横断歩道上停車への安全対策は



現場の状況に応じ、しっかり対応していく



その他の質問

- ・公共交通の割引制度や停留所について
- ・学力向上について
- ・放課後児童クラブについて
- ・市立病院の満足度や人工透析について

Q 南川瀬町地先等、死亡事故が発生した道路への安全対策は。

A 現場で事故の発生状況を確認し、市としては交差点マークや路面標示で減速対策、注意喚起を行い、交通規制が伴う対策は警察が対応され、安全対策を図っている。

Q 路線全体に対するその他の安全対策は。

A 地域からの要望に基づき現地確認をし、必要に応じて、抜け道対策の路面標示やカーブミラーの設置等検討していく。

Q 堀町地先の広域農道等のように、赤信号から連なる車が交差点内や横断歩道上に停車し、交差点を塞いだり、横断歩道を渡ろうとする歩行者を危険にさらす等の事態に対する対策は。

A 現場の状況を注視し、公安委員会の指導を得ながら、注意喚起を促す路面標示等の対策の検討を進める。



▲安全対策が推進された交差点



矢吹 安子議員
企画総務消防常任委員会



空き家等の適正管理に関する条例改正を前向きに取り組まれては



全国的な取組等を調査し効果的な空き家対策を実施できるよう研究



その他の質問

- ・彦根城の世界遺産登録のメリットは
- ・世界遺産登録について今やるべきことは

Q 平成29年度の空き家管理状況アンケートの結果内容は。

A 88.7%の方が管理を行っており、その内50.4%の方が年に数回管理していると回答。また、42.4%の方は将来的に利活用したいと回答された。

Q 今年度9月発送のアンケート結果はいつ公表されるのか。

A 空き家所有者の意向調査結果は、令和5年3月末頃に発行予定の彦根市空家等対策計画に掲載する。

Q 空き家と更地の固定資産税の比較は。

A 土地の大きさ等にもよるが、住宅が建っている場合と更地の場合を比べると、更地の固定資産税は3～5倍程度に上昇する。

Q 彦根市空き家等の適正管理に関する条例改正について前向きに取り組まれては。

A 全国的な取組等を調査し、効果的な空き家対策を実施できるよう研究する。



▲所有者と連絡のとれない空き家



堀口 達也議員
福祉病院教育常任委員会



障がい者グループホームへの
相談支援体制の充実への考えは



相談支援専門員のスキルアップに
取り組み相談体制の充実を図る



その他の質問

- ・子どもの居場所作りへの支援は
- ・コロナ禍での声を把握した対応は
- ・4年目以降の団体にも寄り添った支援はできないか

Q 障がい者グループホームの利用状況は。

A 市内14か所。総定員数117人で入居者100人。そのうち本市の入居者61人。

Q グループホーム開設・運営の課題および国、県への働きかけは。

A ①事業所整備時における資金等の確保 ②1年半前以上から準備を始める必要がある
③支援員等の人員確保 が課題。

国の予算が大幅に削減されたため、予算増額に向けて要望活動を行う。本市の協議案件が、その年度内に確実に採択されるよう国や県に働きかけたい。

Q 相談体制の充実への考えは。

A 支援策の周知と、重症心身障害や強度行動障害、医療的ケアを要する重度障害の方への将来的な不安にも寄り添えるよう、相談支援専門員のスキルアップに取り組み、さらなる相談支援体制の充実を図る。



馬場 和子議員
企画総務消防常任委員会



今冬の雪事情を見据え、教訓を
糧に除雪と排雪の具体的計画は



除雪車両を22台増、排雪用車両
46台も加え、体制強化を図る



その他の質問

- ・支所・出張所、公民館のサービスと利便性向上対策を
- ・公共交通の連動により渋滞緩和と来彦者へのおもてなしを

Q 昨冬の大雪の教訓を糧にした除雪・排雪の対策の変化は。

A 除雪業者や除雪車両の増加に加えて、別途、排雪用車両を契約。また、委託路線の割り当て等、効果的・効率的な除雪が行えるよう見直した。

Q 除雪・排雪の具体的な計画は。

A 除雪業者を44社から48社に増やし、除雪車両も22台増の104台とし、排雪用車両46台と合わせて150台で体制を強化する。また、県・市の管理地に排雪場所を新たに8か所確保し9か所とした。生活道路や通学路の除雪時には、地域の中小河川の通水に支障のない範囲で排雪が可能であると周知している。

Q 支所・出張所の除雪は。

A 状況に応じて近隣に住む市職員が応援。

Q 公民館の除雪は。

A 除雪機の配備も検討。



▲除雪・排雪に備えた車両



小川 隆史議員
市民産業建設常任委員会

Q フリースクールは必要か

A 子どもの状況に応じて支援する フリースクールは必要



その他の質問

- ・事務分掌条例の一部改正について
- ・保育関連施設職員の働き方改革について

Q 本市の不登校の状況は。

A 令和3年度の小中学校の不登校児童生徒数は314人で、10年前の2倍超である。

Q フリースクール等を学校以外で教育を受ける機関の選択肢の1つとして必要性を認めているか。

A 不登校児童生徒への多様な学びの機会確保の観点から、学校以外にも、子どもの状況に応じて支援を受けられる体制を整える必要がある。フリースクール等はその一翼を担っていると認識しており、連携・協働は必要であると考えている。

Q フリースクール等に対する公的支援の考えは。

A 運営団体が1つの市町区域を超えて広域に不登校児童生徒を受け入れていることもあり本市単独では支援が難しく、県に対して補助制度の創設を要望している。



▲市内京町にあるフリースクール



林 利幸議員
福祉病院教育常任委員会

Q 高専誘致が叶わなかった4haの土地は今後どうなるのか

A 庁内で当該土地の利活用に向けた 誘致活動を進めている



その他の質問

- ・都市計画公園について
- ・稲枝駅西口へのアクセス道路整備について
- ・コロナ禍の教育行政について

Q 県は高専の設置場所を野洲市旧野洲川に決定したことを公表したが、この結果をどのように受け止めたか。

A 地元や彦根商工会議所、稲枝商工会などあらゆる機関や団体にご協力いただき提案書やプレゼンテーションにおいて最大限に提案地の魅力をアピールしてきたので非常に残念だ。

Q 誘致が叶わなかった4haの土地は今後どうなるのか。このまま放置されることがないように強く求めるが、市の考えは。

A 今年度末にかけ県が行っている市街化区域編入についての基礎調査結果を踏まえ、市街化区域への編入の可能性や方向性を探っていく。同時に地元からの要望もあるので、庁内においては当該土地の利活用に向けた誘致活動を進めている。



▲誘致が叶わなかった高専の彦根市提案地



谷口 典隆議員
企画総務消防常任委員会



物価高騰を受け高齢者世帯などへの新たな支援策を講じては



一応、高齢者世帯の50%が現事業の対象となっており考えはない



その他の質問

- ・彦根市の夜間警備と防災対策の現状は
- ・京橋交差点や護国神社前交差点などへの右折矢印信号の設置は

Q コロナ禍や物価高騰を受け、高齢者世帯をはじめ年金生活者への新たな支援は。

A 現在実施している電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金は高齢者のみの世帯のうち、約50%が対象となっており、高齢者への一定の支援が行われていると考え、新たな支援策は考えていない。

Q 50%をカバーできていればよいという根拠はあるのか。

A 一応、半数を占めるので一定の支援が行われていると考えている。

Q 高齢者世帯の50%をカバーしているから新たな施策を打たないという理由は根拠として乏しいと考える。過去の知見を生かした高齢者でも使いやすいカタログチョイス事業などの実施は。

A 今後、より効果的な時期に効果的な経済対策を実施したい。

▶ 高齢者からはカタログチョイス事業など使いやすい支援が求められるが…



北川 元気議員
企画総務消防常任委員会



子どもの医療費無償化の新たな対象は



6歳から12歳(小6)までに拡大



その他の質問

- ・2022秋のひこにゃん大躍進！について
- ・元素騎士Online-META WORLD-とのパートナーシップについて

Q 彦根市子どもに係る医療費の助成に関する条例改正趣旨は。

A 子育ての環境および子どもの保健の向上ならびに児童福祉の増進を図るため、通院医療費の助成の対象年齢を現在の6歳から9歳までを6歳から12歳までに拡大するもの。

Q 新たに医療費が無償になる子どもの人数は。

A 滋賀県のホームページで公開されている統計によると、令和4年5月1日現在で3,088名。

Q 医療費助成拡大にかかる予算は。

A 扶助費、手数料、合わせて約6,700万円の予算が新たに必要になる見込み。

Q 和田市長の選挙公約で多くの市民が待ち望む中学生の医療費助成は。

A まず小学6年生までの無償化だが、2年後の令和7年度から中学生の無償化にも取り組めるよう行財政改革に取り組んでいきたい。



▲通院費が無償になる子どものイメージ写真



黒澤 茂樹議員
福祉病院教育常任委員会



JR稲枝駅に市営駐輪場を早急に設置すべきではないのか



駅西側に早期に駐輪場を整備する必要があると認識している



その他の質問

- ・一人暮らし高齢者に対する市の支援策や対応方針は
- ・企業版ふるさと納税の取組は
- ・新たな財源確保の取組は

Q 市内、他のJR駅同様に稲枝駅の東西に市営の駐輪場を早期に設置すべきと考えるが市の見解は。

A 駅西側の駐輪場整備については、利用される皆様が快適に使用して頂けるよう、早期に整備する必要があると認識しているが、駅東側に新たな駐輪場を整備する予定はしていない。

Q 早期とは具体的にいつ頃か。

A まずは財源確保が必要と考えており、どのような手法で事業を進めるかなどの整備計画を練り、見通しが立ち次第、事業化に向けて着手したいと考えている。完成時期は現時点では明確に答えられないが、駐輪場の需要も増えており一日でも早く整備ができるよう鋭意努力する。

Q 令和5年度中の建設はできないか。

A 現在、関係機関と協議中であり令和5年度中の建設は困難と考えている。



▲JR稲枝駅西側臨時駐輪場



安澤 勝議員
市民産業建設常任委員会



鳥居本地先国道8号沿線の歩道設置進捗状況は



鳥居本駅より北側・南側ともに令和6年度の完了を目標



その他の質問

- ・8号バイパス供用開始後の交通対策について
- ・8号バイパス彦根工区の着工時期について
- ・消防機関員の養成について

Q 国道8号線における鳥居本駅より北の歩道設置状況は。

A 鳥居本駅より北の歩道設置進捗状況は、土地所有者のご了解が得られた範囲について、歩道拡幅部分の用地幅杭の設置が6月に行われた。10月から用地測量を実施して、12月に土地境界立ち合いを予定している。

Q 鳥居本駅より南の歩道設置状況は。

A 鳥居本駅から南交差点までの区間は9月～10月で関係者の土地境界立会いおよび補償調査を完了した。南交差点からつるやゴルフ店側に向けた区間は、昨年度に土地の境界立会いが実施され、現在調査結果の取りまとめおよび境界確定協議書等を整理され、今後用地取得を進めていく。

Q 供用開始時期は。

A 北側・南側ともに令和6年度の完了を目標としているが、予算や用地取得状況により変更がある。



▲歩道整備が必要な鳥居本国道8号沿線



森田 充議員
市民産業建設常任委員会

Q プロシードアリーナHIKONE
オープンへの彦根市の意気込みは

A まちなか交流の拠点として多くの方に満足いただける施設を目指す



その他の質問

- ・ごみ袋の無料配布を検討してみても
- ・「人事部」に求めることは
- ・職場でのコミュニケーション頻度を上げてみる

Q プロシードアリーナオープンに向けて彦根市の意気込みは。

A 大規模大会、プロスポーツ、合宿誘致等によりスポーツツーリズムを推進しにぎわいを創出する「まちなか交流の拠点」として、多くの方に満足いただける施設となるよう、本市と指定管理者が一丸となって取り組んでいく。

Q 駐車場、アリーナ外構の整備状況は。

A 当初の計画通り、令和4年度末に完成予定。

Q JR南彦根駅エスカレーターの整備状況は。

A プロシードアリーナのオープンに伴い、その重要性は増している。まずは財源を確保するため、国庫補助事業の対象となるようJR南彦根駅周辺地域の都市再生整備計画に位置付けていくことが必要と考えており来年度中にエスカレーター整備に向けた基本的な調査を実施したい。



▲オープニングイベントが盛大に開催されました



上杉 正敏議員
福祉病院教育常任委員会

Q 外部有識者によるヒアリングで事務
事業見直しの方向性はできたか

A 外部有識者ヒアリングの助言を受け
見直しを進めていく



その他の質問

- ・公用車による事故削減について

Q 市税収入以外の歳入確保で特に力を入れようとする項目は。

A 特に力を入れようとする項目は、ふるさと納税と企業版ふるさと納税の活用。ふるさと納税は年々増えており、ネット広告の拡大によるPRの強化を進めている。企業版ふるさと納税も、全国的に寄附実績が年々増加していることから、彦根市を選び、ご支援いただけるよう取り組んでいく。

Q 外部有識者のヒアリングを受け見直しの方向性はできたのか。

A 全ての部局で、約700以上もの全事業について、事務事業の見直しの指針に基づき、方向性を検討した。また、それらのうち9所属9事業について、外部有識者のヒアリングを実施し助言を受けた。今後、この方向性や有識者の助言を踏まえ、見直しを進めていく。



▲有識者のアドバイスによる事務事業見直し



辻 真理子議員
市民産業建設常任委員会



新制度「産後パパ育休」が追加された理由は



育児の入口となる出生直後の休業取得は男性の育児休業を促進する



その他の質問

・保育施設における「使用済み紙おむつ」の処理方法は

Q 新制度「産後パパ育休」が追加された理由は。

A 育児の入り口となる子の出生直後の休業取得という、柔軟で取得しやすい枠組みを設けることで男性の育児休業を促進し、取得を望む男性の仕事と家庭の両立を叶えるため。

また、男性が子の出生直後に休業を取得することはその後の育児や家事分担につながり、女性の雇用継続や夫婦が希望する数の子を持つことに期待できる。

Q 彦根市役所の父親の育児休業の取得状況は。

A 令和元年度が、新たに育児休業が取得可能となった職員数49人に対して取得者は9人で取得率は18.4%、令和2年度が36人中11人で30.6%、令和3年度が36人中19人で52.8%となっており、取得率は上昇傾向にある。



▲「産後パパ育休」の普及を期待して

委員会による先進地視察を実施



市議会では、議案などを専門的、能率的に審査するため、企画総務消防常任委員会、福祉病院教育常任委員会、市民産業建設常任委員会の3つの常任委員会を設けており、議員全員がいずれかの委員会の委員に選任されています。

各委員会では、効果的な審査が実施できるよう、それぞれに視察項目を定め、先進的に取り組んでいる他の自治体を訪問し、調査研究を行っています。

今後も、市政の発展と向上のため、調査研究に努め、活発な議論を行ってまいります。

企画総務消防常任委員会

**1 10月25日(火)茨城県ひたちなか市
「国民体育大会主会場都市としての役割や対応」**

陸上競技等、4競技8種目の開催地であったひたちなか市には、計10万5千人以上の来場者があり、1,095人の市民ボランティアが役割分担し多岐にわたって活躍されたとのことでした。主会場開催都市である本市は、開閉会式への関わり度合いや競技会場の運営等にかかる事前準備が課題であり、早い段階から、県をはじめ中央の競技団体等との情報共有や協議の場を設ける必要があるとの認識を得たところです。



2 10月26日(水)神奈川県横浜市「横浜市民防災センター」



昭和58年に市内唯一の防災教育施設および特別消防隊の庁舎として開設され、平成28年度には自助・共助を推進する中核施設として全面リニューアルされた当該施設では、水災害体験装置等による様々な災害時の体験ができました。いつどこで誰が遭遇するかわからない災害時に、皆が冷静に対処することが必要であり、このような施設で実際に体感しておくことで減災することは可能であると感じたところです。

3 10月27日(木)静岡県御殿場市「ふるさと納税自動販売機設置」

ふるさと納税自動販売機はゴルフ場利用者からの要望で検討を開始され、現在は3つのゴルフ場と御殿場プレミアム・アウトレットに設置されています。実績はふるさと納税額全体からみれば少額ですが、順調に実績を上げておられました。これは富士山のステータスと首都圏から近いという地の利があってのことですが、本市の返礼品も遜色はないため、世界遺産等を通じて本市の認知度を高めれば伸びしろは十分にあり、本市のふるさと納税の情報を多くの方に届け、そして、リピーターを増やしていく取組が大事だと感じました。



福祉病院教育常任委員会

1 10月26日(水)福岡県大牟田市「認知症ケアコミュニティ推進事業」

大牟田市では、世代間交流・多職種協働・地域協働のまちづくりの推進を目指して様々な取組をしておられました。その中でも、地域住民の認知症への理解を進めるには「ほっとあんしんネットワーク模擬訓練」が有効だとのことでした。本市でも警察との情報共有を行い、行方不明者の早期の発見・保護を目指していますが、地域住民や各種団体等の意見を聞き、連携構築を図りながら、地域全体で取組を進めていくことが重要と考えます。



2 10月27日(木)福岡県春日市「図書館の指定管理と雑誌スポンサー制度」



雑誌スポンサー制度は、本市にも実施要綱があり、今後積極的な推進を図るための多くの学びが得られました。また、春日市では指定管理者制度の導入により、図書館利用者の満足度は上がっているようでしたが、本市では多くの貴重な郷土資料のレファレンス需要に応える必要がある等、電子図書館や図書館連携等も含めて、今後更に検討を重ねていくべきと考えます。

3 10月28日(金)福岡県福岡市「小中一貫教育」

能古島小中学校は令和4年度で全校173名の児童・生徒が在籍しています。募集は新小学1年生のみで、募集定員10名に対し、20人程度の応募があるとのことでした。自然に恵まれた環境を生かした島ならではの体験や地域との関わりを教育課程に取り入れている事や、福岡市は公共交通機関が整備されており通学しやすい事等から応募者が多いようで、今後本市の鳥居本学園等の取組の参考として生かせるものと考えます。これから児童生徒数の減少が見込まれる中、小中一貫教育や学校の配置等、何が地域に最適かを今から十分に検討する必要性も感じました。



市民産業建設常任委員会

1 11月7日(月)栃木県日光市「世界遺産登録推進」

日光市では、世界遺産登録は地域づくりであり、足尾地域の活性化への方策と位置付けられており、市民団体を中心に、市外・県外の方による日光市との協働事業が活発に行われたとのことでした。本市も市民協働・自発的な市民活動が次々と起こってくるような環境整備に取り組む必要があります。市議会としてもこの課題に取り組む必要があります。世界遺産を通じてのまちづくりの大切さを認識し、また今後の本市の取組を示唆する視察となりました。



2 11月8日(火)栃木県宇都宮市「地域公共交通」



宇都宮市では令和5年開通予定のLRT(ライトライン)をはじめ、バスやデマンドタクシー等、公共車両への取組が広がっています。LRT車両は最新の装備とデザインで、運賃収受方法もICカードを使用する等、効率的で魅力的でした。構想から30年、1,000億円を超える事業規模に驚きましたが、継続的なインフラ整備は産業や人々の暮らしに大切なものです。LRTの車両を視察することで、少々新しい先を見通した事業への挑戦も必要ではと感じたところです。

3 11月9日(水)東京都町田市「新ごみ処理施設」

町田市バイオエネルギーセンターは、生ごみのバイオガス化施設とごみ焼却施設を一体的に整備した首都圏初の施設です。彦根愛知犬上広域行政組合が新ごみ処理施設の建設に取り組んでいますが、これまでの計画では熱焼却方式であり、事業費は約300億円と高額です。一方で、環境負荷が小さく建設費も少ない、好気性発酵乾燥方式(トンネルコンポスト方式)も検討されています。どちらを選択するのか、あるいは一体化するのか、さらに深く検討するべきだと考えます。



福祉病院教育常任委員会で 図書館のあり方および業務内容について 政策提言を行いました



先進地の行政視察や閉会中の継続調査のための委員会を開催し、この調査結果に基づき、令和4年12月26日(月)に市長に提言を行いました。

1. 雑誌スポンサー制度につき、各種団体へ協力を依頼する等積極的な推進を図っていくこと
2. 指定管理者制度や電子図書につき、時代の潮流を見極めながら、利点や課題につき調査・研究を進めること
3. 図書広域利用の迅速な推進をはじめ、市民が等しく図書館を利用でき、また図書サービスを受けられる環境の充実が図れるよう、スピード感をもって検討、整備を進めること

彦根市議会

議会 広聴

の日

『議会広聴の日』 を開催しました



令和4年11月2日(水)
12時から16時まで、稲枝支所にて開催しました。

今回は、4名の方々にお越しいただき、図書館整備や農業集落排水整備などについてご意見やご要望を頂戴しました。

いただいたご意見は、今後の議会活動に生かしてまいります。

『議会広聴の日』は、普段市民の皆さまが考えている市政へのご意見について、市議会議員と気軽に話していただける「意見交換の場」です。



次回開催予定

【開催日時】
令和5年2月7日(火)
12時～16時

【場所】 みんなの広場
(アル・プラザ彦根4階)

編集後記

昨年一年を表す漢字は「戦」でした。ロシアのウクライナ侵攻をはじめ、コロナとの戦い、物価高騰との戦い、水害や台風、地震といった自然災害との戦いなど多くの戦いがあった一年でした。また、本市では一昨年末は大雪との戦いがあり、市内の道路は大渋滞を引き起こし、物流が滞ったことは記憶に新しいところです。この冬も冬型の気圧配置が強まる見込みと予想されており、市は幹線道路をはじめ、市立病院付近の除雪に万全を期す体制を敷いています。

月末からは2月定例会が始まり、令和5年新年度予算案が審議されます。大型投資事業の市債返済が待っており、厳しい財政状況との戦いがより厳しさを増す年となりそうです。

広報委員会



次の定例会は
2月です

本会議・委員会の日程(予定)

月 日	内 容	時 刻
2月27日(月)	開 会	9:00
3月 6日(月)	個人質問	9:00
3月 7日(火)		
3月 8日(水)		
3月10日(金)	予算常任委員会	9:30
3月13日(月)		
3月14日(火)		
3月15日(水)	市民産業建設常任委員会	9:30
3月16日(木)	企画総務消防常任委員会	9:30
3月17日(金)	福祉病院教育常任委員会	9:30
3月20日(月)	本 会 議	9:00
3月24日(金)	閉 会	9:00